

SAPIX	4年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 10回『総合』 11回『約数』 12回『倍数』 13回『面積の考え方』		
家庭学習ポイント	第10回では6回から9回までの復習です。四則混合のルール、逆算の工夫などここで確認を完了しておきましょう。和差算の考え方や、線分図を用いた条件整理の方法もこのタイミングできちんと復習を完了してください。第11回では約数を扱います。約数の意味、素数の定義、公約数や最大公約数の意味を身につけることがポイント。できれば50までの素数は頻出ですからこのタイミングで全て言えるようにしてしましましょう。約数の書き出し方も、作業ルールとして身につけておいてください。第12回では倍数を扱います。倍数の意味や周期性について理解し、約数との関係も確認しましょう。公倍数、最小公倍数の意味を理解し、尚且つ公倍数にも周期がある事を確認しておいてください。最初はきちんと書き出しの作業を行い、作業と共に周期、規則がある事に気付いておくことが大切です。第13回では面積について学びます。単位の理解も行いつつ、求積の公式は正しく理解して記憶するようにしましょう。例えば底辺は図形の下側の辺という意味ではありません。高さでセットで理解しましょう。複合図形でも底辺と高さをセットでとらえるよう習慣にしてください。		
課題の把握と解決策	チェック1	計算のルールを正しく把握していますか？	チェック
	解決策	四則混合やかっこを含む計算、逆算など、ルール通りで正解できます。ルールを把握しましょう	□
	チェック2	計算が苦手、という意識になっていませんか？	チェック
	解決策	幾つかの工夫の仕方を除けば、計算に才能はいりません。地道な毎日の計算を大切にしましょう	□
	チェック3	約数の意味をすぐに答えられますか？	チェック
	解決策	約数、素数の定義を知っておくことが今後の算数力の土台になります。定義を大切にしましょう	□
	チェック4	いろんな倍数の周期をしていますか？	チェック
	解決策	公倍数や、差から倍数を見つけるなどの技術の基本を学びます。この時期に完璧に仕上げましょう	□
	チェック5	部屋や広場などのだいたいの面積を正しく答えられますか？	チェック
解決策	このタイミングで身の回りのものの広さを面積としてとらえ直してみましよう	□	
SAPIX	4年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 10回 コトノハ／こいのぼりを見上げて 物語文 11回 知の冒険／〇〇したのはだれだ？ 説明文 12回 コトノハ／これからの自動車は？ 物語文 13回 コトノハ／おにいちゃんはずらいよ 物語文		
家庭学習ポイント	10回ではこどもの日を絡めた友達との会話を学びます。語彙力だけではなく、風習の背景や風習の背後にある歴史を知っておくことも大切です。同時に、表情に隠された本心という読解のポイントも学びます。11回では主語、述語の見分け方、修飾語の理解とかけ受けの技術を身につけます。そこからもう一歩踏み込んで、主語述語の順が逆であったり、省略されていたり、複数の主語述語が隠されていたりする文章についても学びます。読み解く力の基礎になりますのでマスターしましょう。12回では自動車の功罪、これからの進化といったよく取り扱われる題材や背景を学び、物語文では登場人物の過去を知る回想シーンから、人物像を類推する技術を身につけます。13回では兄の心情、兄と弟の関係を学び、説明文では環境にまつわる題材をもとに、接続詞や形式段落について学びます。		
課題の把握と解決策	チェック1	日本の慣習について知識や歴史を知っていますか？	チェック
	解決策	こどもの日だけではなく、日本の慣習や季節の節目となる日を把握しておきましょう	□
	チェック2	普段から主語述語を意識して話していますか？	チェック
	解決策	日常会話でも、あえて意識して主語述語を使うようにしましょう	□
	チェック3	文のテーマを、シンプルにまとめて話すことができますか？	チェック
	解決策	冗長になりがちな複雑な構造の文ではなく、端的な短い一文で話すように心がけてみましょう	□
	チェック4	登場人物の人物像をまとめることはできますか？	チェック
	解決策	登場人物の過去からどのような人なのか類推するトレーニングをしましょう	□
	チェック5	「しかし」「だから」といったつなぎ言葉に注目できますか？	チェック
解決策	注目すれば形式段落の内容を把握することに役立ちます。冒頭の言葉に注目しましょう。	□	

SAPIX	4年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 10回『植物って生きている？』 11回『植物によって生きている？』 12回『みんなひとりじゃ生きられない』 13回『水に溶けるもの』		
家庭学習ポイント	10回では植物、特に種子のつくりを学びます。種子の部分の名前や役割を知り、どのように育っていくのか、どんな性質を持った種子なのか、これまでの体験学習も踏まえて学びましょう。また、発芽の際に何が起こるのか、人間が生まれる、生きることと照らし合わせて学びましょう。11回では植物の成長に必要な条件について学びます。ここで学ぶ光合成の知識が、5年生以降や入試の際の植物系計算問題でも必須になりますから、必要な条件を確かめる方法についても整理しておきましょう。12回では食物連鎖だけではなく、様々な生き物が酸素や二酸化炭素を通してどのようにつながっているのかを学びます。生物をとりまく環境について、これまでの体験学習を踏まえて理解を深めましょう。13回では、化学分野の基本となる水溶液について学びます。「ものが水に溶けるとはどういうことか」から始まり、固体、液体、気体が溶けている水溶液や、早く溶かす方法、たくさん溶かす方法など、こちらは今までの体験学習もとに考え、気づきを得ることが大切です。		
課題の把握と解決策	チェック1	イネ・インゲンマメ・カキの種子の断面図が描けますか？	チェック
	解決策	代表的な種子について、大まかな絵が描けるようにしておきましょう。部分の名前も忘れずに	□
	チェック2	種子の成長、変化について知っていますか？	チェック
	解決策	発芽の条件や、上記の種子が発芽した後どんな成長をするのかまとめておきましょう	□
	チェック3	光合成と呼吸の違いを説明できますか？	チェック
	解決策	エネルギーを得て行う事、行うことでエネルギーができる、全く逆のはたらきです	□
	チェック4	生物のつながりについて例をあげて説明できますか？	チェック
	解決策	水中、陸上、地中など、様々な環境下でつながる生物について知識を整理しましょう	□
	チェック5	水に溶けるものの例をたくさんあげられますか？	チェック
解決策	身の回り、キッチンなどにあるものについて、水に溶けるという状態を体験学習から整理しましょう	□	
SAPIX	4年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 10回 地図で見る私たちの社会 11回 地形と気候① 北海道地方 12回 地形と気候② 東北地方 13回 地形と気候③ 関東地方		
家庭学習ポイント	10回では縮尺の理解→地図上の長さから実際の距離を求める、用途別の地図の種類理解、緯度経度の理解、地図帳のルールを学びます。縮尺の計算は算数の比の勉強でより正確に作業を学びますが、今回は用途によってどの縮尺が良いのか、といった使用用途からの理解を深めましょう。11回から日本各地の気候や地形を学びます。まずは北海道から。日本で最も北に位置する北海道の特徴的な雨温図をもとに、どんな気候なのか考えていきましょう。また、北海道の広大な土地をつかった農林水産業を暗記するだけではなく、地形から理解を深めます。白地図に都市を書き込んで位置関係もつかみましょ。12回は東北地方です。東北の6つの県と県庁所在地を白地図で把握し、地形と気候の特徴をつかみましょ。同時にコメ作りや果物の生産が盛んな理由も考えます。やませの特徴や、フェーン現象が日本海側で起こる原因も考えてみましょ。13回は関東地方です。7つの都・県と都・県庁所在地を白地図に書き込み位置関係を把握してみるとよいでしょう。人口が一極集中している東京都では、人口の過密によってどんな問題が起こっているのかを考えることも大切です。気候については、夏のむし暑い機構と冬の「からっ風」の理由も考えてみましょ。		
課題の把握と解決策	チェック1	地図を見る基本技能が身についていますか？	チェック
	解決策	用途別に地図を便利に使うことを考え、縮尺の換算にも取り組んでみましょ	□
	チェック2	北海道について、知っていることは何ですか？	チェック
	解決策	北海道は、要は〇〇なところ、と説明できるくらいまでまとめて理解を深めておきましょう	□
	チェック3	東北について、知っていることは何ですか？	チェック
	解決策	東北は、要は〇〇なところ、と説明できるくらいまでまとめて理解を深めておきましょう	□
	チェック4	関東について、知っていることは何ですか？	チェック
	解決策	関東は、要は〇〇なところ、と説明できるくらいまでまとめて理解を深めておきましょう	□
	チェック5	各都道府県の都道府県庁所在地を言えますか？	チェック
解決策	各地方ごとに固まりで覚えていきましょう。丸暗記にせず、気候や地形と合わせて覚えましょ	□	